

ふくしま ものまつぶ

VOL.
2



BEAMS
JAPAN

白河だるま

“ 縁起がいいな! その積み重ねがだるまの歴史です。 ”



白河だるま総本舗 14代目
渡邊 高章さん

1992年生まれ。福島県白河市出身。
大学卒業後、ビジネスを学ぶために渡米。
帰国後、本格的に白河だるまの企画・販売に注力し、オリジナルだるま専門ブランド
“Hanjiro”を立ち上げる。

「だるまって買ったことないなあ」、大学生のときに多くの友人から言われました。江戸時代から地元の人々に親しまれている白河だるまですが、全国的にはまだまだ無名だと痛感しました。現在ではさまざまな企業やキャラクターとコラボレーションを行い、認知度を広げています。今回のプロジェクトでも、白河だるまをより多くの人に知つてもらい、福島が積み上げてきた伝統や文化、そして“白河だるま”的歴史に触れるきっかけになればいいなと思います。大切なことは、守るべき伝統を残しながら、その世代で親しまれるものを創り続けていくこと。白河だるまが持つポジティブなイメージを残しながら次の世代につなげていきたいです。

さて、最後に私から質問があります。「あなたが最後にだるまを買ったのはいつですか?」

“ 「白河だるま」が出来るまで ”





Number 02

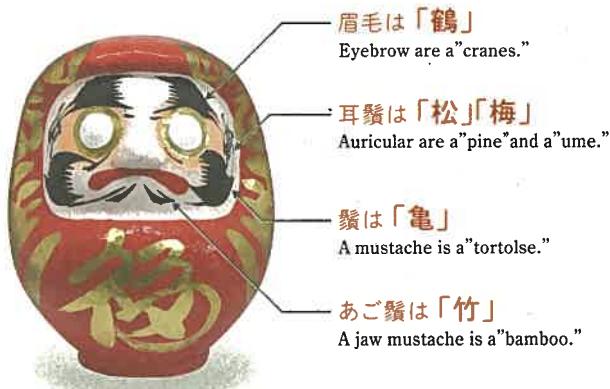
白河だるま総本舗 渡辺だるま店

しらかわ
「白河だるま」とは

特徴

白河だるまは、幸運の象徴とされている「鶴亀松竹梅」が顔の中に描寫されているのが最大の特徴であり、そのデザインはかの有名な絵師・谷文晁が行つたとされています。

また、願いごとをする際はまず、だるまの左目に目を入れ、成就したら右目を入れるという風習があります。



歴史

白河だるまは、寛政の改革で有名な松平定信公の「民の生活をより元気に」という想いから幸運をもたらす縁起物として誕生しました。家族の健康や会社の繁栄、高校や大学の合格や選挙での当選など古来より人々が何かを願う際は必ず白河だるまがそばにあり、たえず人々の夢や希望を応援し続けてきました。



BEAMS
JAPAN

ビームス ジャパン
〒160-0022
東京都新宿区新宿3-32-6



発行元：福島県広報課
TEL : 024-521-7014